

写真が語る、いのちのバトンリレー ～在宅医療・看取りの現場から～



写真絵本「いのちつぐ「みとりびと」」（農文協、全12巻）の第1巻「恋ちゃんのはじめての看取り」（小学6年道徳教科書〈光村図書〉掲載中）より

病気や障がいがあっても住み慣れた地域で生活を受け、
家族やなじみの人に囲まれて逝く。

そのような看取りを多く取材している國森康弘氏を迎え、講演会を行います。
「旅立ち」や「見送り」について、考えてみませんか？

令和7年 3月16日【日】

時間 14:00～16:00（開場：13:30）

対象者 土浦市民の方
市内在学・在勤の方
市内で在宅医療・介護に携わる方

参加費 無料

定員 先着200名（要事前申込）

会場 クラフトシビックホール土浦 小ホール
（土浦市東真鍋町2-6）

申込 3月14日（金）までに電話又は
二次元コードからお申込みください。



申込・問合せ先：土浦市役所 高齢福祉課 地域支援係 ☎826-1111（内線2500・2501）



講師

Kunimori Yasuhiro

國森 康弘氏

写真家
ジャーナリスト

新聞記者を経てイラク戦争を機に
独立。紛争地や経済困窮地域を回
り、国内では戦争体験者や野宿労
働者、東日本大震災被災者を取
材。命の有限性と継承性がテー
マ。看取り、在宅医療、地域包括
ケアの撮影にも力を入れている。